

農業

令和3年5月号
会誌 No. 1677



目次

巻頭言

原発事故から10年、飯舘村の再生……………三輪睿太郎 3

論 壇

全ての人々に農業リテラシーを……………夏秋 啓子 4

農業懇話会

リモートセンシングを営農の意思決定に結びつけるために…丹羽 勝久 6
質疑応答

寄 稿

これからの地域社会のための獣害対策……………山端 直人 26

研究の最前線

長野県の普通作における外来雑草の総合防除対策と普及体制…青木 政晴 40

農業・農村の現場から

岩手ブランドリンゴ「冬恋」に取り組んで……………久米 正明 48

世界の農業は今

農村を潤すイタリアのアグリツーリズム……………五艘みどり 56

私の経営と志

目指せ、トリプルスリー!!!萩原 雄太 62
—就農10周年に向けて—

農大生の研究

ケニア農村部の生活環境と食卓.....木住野円華 64
—地域農作物を活用した栄養改善の取り組み—

農政情報

..... 69
大日本農会だより 70
編集部から 70

表紙写真説明

「ラー麦」の収穫（福岡県糸島市）

福岡県は「博多ラーメン」や「久留米ラーメン」に代表される全国有数のラーメン県です。また、福岡県は全国2位のコムギ生産県でもあります。しかし当時、県内で栽培されていたのは主にうどん用の品種で、ラーメンの材料となる小麦粉のほとんどを外国産に頼っていました。

「何とかして福岡のコムギでラーメンを作れないか」農業試験場の研究員の一言から、全国初のラーメン用コムギの品種開発が始まりました。製粉会社やJA 全農ふくれんななど実需者と協議を重ね、2008年に「ラー麦」（品種名：ちくし W2号）が誕生し、栽培面積の拡大とブランド化を進めてきました。

「ラー麦」の栽培において重要な作業の一つが、穂ぞろい期追肥です。この追肥によって、コムギのタンパク質含有率が向上し、ラーメンにした時、コシがありゆで伸びしにくい特性が発揮されます。

（写真／文 福岡県農林水産部水田農業振興課）